

# 令和5年度学校自己評価システムシート (県立浦和東高等学校)

目指す学校像	確かな人間力と教養を育み、生徒一人ひとりが自己の探究と実現ができる学校
--------	-------------------------------------

※学校関係者評価実施日は、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

重点目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 学力の向上をめざし、授業改善と主体的な学習習慣の確立を進める。</li> <li>2 自律心と規範意識を高める生徒指導と学習及び部活動の環境整備を進める。</li> <li>3 自己探究により進路意識を高め、進路希望の実現率を高める指導を進める。</li> <li>4 保護者・地域連携と情報発信を充実させ、開かれた学校づくりを推進する。</li> <li>5 ICT活用指導力の向上とICT環境の整備、学校教育活動のデジタル化を進める。</li> </ol>
------	---

達成度	A	ほぼ達成(8割以上)
	B	概ね達成(6割以上)
	C	変化の兆し(4割以上)
	D	不十分(4割未満)

出席者	
学校関係者	9名
生徒	6名
事務局(教職員)	13名

※ 重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目(年度達成目標を意味する。)は複数設定可。  
 ※ 番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

学 校 自 己 評 価					年度評価(2月1日現在)		
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策
1	<ol style="list-style-type: none"> <li>①新教育課程への移行を円滑に行うとともに、教材研究に励みICT機器を取り入れた授業を展開することで、生徒の学力向上を図る。</li> <li>②MetaMojiやICT機器を上手く活用しながら、生徒の興味・関心を引き出す授業展開や課題設定をすることで、生徒の主体的な学習習慣を確立する。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>①ICT機器を取り入れた授業を展開している。</li> <li>②ICT機器を上手く活用している。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>①年次研修対象者、未来学び研究者をはじめ多くの教員による積極的な授業公開の実施。</li> <li>②各教科における課題等の提示を検討し、家庭学習の時間を確保する。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>①主体的・対話的な展開の授業を取り入れられたか。</li> <li>②ICT機器を上手く活用できたか。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>①ICTを活用しながら新しい授業形態の構築に向けて工夫が図られた。</li> <li>②上記のとおり学校評価アンケートにおいて授業に対する評価は高いが、授業以外の学習時間は前年度に比べて減少している。</li> </ol>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・MetaMoji等のアプリケーションやソフトを上手く活用し、興味・関心をより高める授業を展開していく。</li> <li>・来年度においても、新学習指導要領の改訂に伴う新教育課程への移行が円滑に行われるよう継続して対応していく。</li> </ul>
2	遅刻、交通事故件数ともに減少させることができているが、ゼロではない。ヘルメットが努力義務化になったが着用している生徒は少ない。TPOを意識した言動や行動ができていない生徒が少なからず存在している。自律心と規範意識を高める指導を進める	交通安全ルールの周知徹底と基本的な生活習慣の確立に取り組む。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・交通安全指導・講話の実施</li> <li>・定期的な立哨指導の実施</li> <li>・掲示物による注意喚起。動画による注意喚起。</li> <li>・バス乗車指導の実施。</li> <li>・日常の様々な場面において教職員からの積極的な投げかけを増やし、生徒が正しい判断のもと、TPOを意識した言動や行動について考え、行動する機会を増やしていく。</li> <li>・目標達成に向けて生徒会との連携。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・交通事故件数、乗車マナーに対する苦情の件数。</li> <li>・遅刻者数や時間ギリギリに登校する生徒の数。</li> <li>・指導部による日常の学校生活での観察や、担任、教科担当、部活動顧問との情報共有。安全で安心な学校になっているか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自転車への苦情は1か月に1~2回程度寄せられた。交通事故は14件で前年と比べて5件増加した。4月5月に事故が多く直ぐに集会で注意喚起をした。苦情のあった地点へは実際に出向き立哨指導をした。</li> <li>・生徒会が定期的にヘルメットの着用を呼び掛けた。</li> <li>・教職員が協力して声掛け、対話することによってTPOを意識した行動のとれる生徒が増えてきていると感じる。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き交通安全指導を徹底していく(特に年度当初)。生徒会と協力して、生徒が中心となって主体的に交通安全、ヘルメット着用、TPOを意識した行動について考え、活動できるようにしていく。</li> </ul>
3	<ol style="list-style-type: none"> <li>①多岐にわたる生徒の進路を実現させるとともに、多様化する入試制度に向けて、計画的・系統的な進路指導を実践する。また、上位層でより高いレベルをめざす生徒を増やす必要がある。</li> <li>②観点別評価を重視した入試制度に対応できるような資質・能力の養成に努める。また、資格・検定試験の合格率の向上をめざす。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>①個々の進路実現を踏まえ、多面的に指導にあたる。</li> <li>②「学力の3要素」に基づく進路指導を行う。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>①スタディサポートや実力診断テスト、各種模擬試験等を実施し、生徒の進路意識を高める。</li> <li>②SD「総合的な探究の時間」等を活用し、生徒が主体的に自分の将来について考え、自らの意思を発信できる能力を養う。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>①進路行事、進路結果満足度は90%を超えたか。</li> <li>②探究活動やガイダンス等を通して、主体的に考え、自ら発信する力を伸ばすことができたか。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>①進路結果満足度は95%、進路行事への積極的な参加について83%と昨年度並みであった。</li> <li>②「総合的な探究の時間」等を通して、自ら考え仲間と意見を共有する機会が増え、主体性や協働性といった資質能力を養うことができた。</li> </ol>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒一人一人の進路希望に合わせた進路指導を行えるよう、各分野に関する情報収集に努め、随時生徒に提供することにより、生徒の進路意識を高め、早めの進路希望決定を促す。上位大学合格者を増やすための対策を検討する。</li> </ul>
4	本校での取り組みに関する情報を積極的に発信していく。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校説明会等を適切な方法、時期に実施する。</li> <li>・学校に寄せられる情報を適切な方法、時期に提供している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安心・安全に配慮した年4回の学校説明会・部活動体験等の開催。</li> <li>・校外で開催される高校説明会等への参加。</li> <li>・学校HPの改善。</li> <li>・進路や奨学金等に関する積極的な情報提供。</li> <li>・学校行事等のリアルタイム更新による情報発信。</li> <li>・地域活動への積極的な参加。</li> <li>・生徒への授業評価アンケートの実施。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校説明会などを通して本校への理解が深まり、進学意欲が高まったか。</li> <li>・学校説明会の工夫・改善が図られたか。</li> <li>・志願者数が増加できたか。</li> <li>・積極的な情報提供ができたか。</li> <li>・保護者による授業評価アンケートの結果から情報が家庭に確実に届いているか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実施を予定していた計4回の学校説明会とUE夏フェス(各部活動体験)を、滞りなく実施することができた。本校進学希望者1.42倍(R5.12.15現在)</li> <li>・校外で個別学校説明会に参加し、広報活動を行った。</li> <li>・学校行事・部活動等について、リアルタイムにHPにアップするなど、情報発信した。</li> <li>・学校評価アンケートにおいて「学校からの保護者あて文書をよく見ている。」と思う22.1%、どちらかというと思う47.4%の合わせて69.5%であった。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校説明会において、本校の良さをより感じてもらえるようにプログラム内容の改善を検討していく。</li> <li>・HPの更新について、教務部の担当者以外でも学校行事等を積極的に配信できるような仕組みづくりを検討する。</li> <li>・保護者への連絡手段でもあったClassiを利用しなくなってから「保護者あて文書をよく見ている」数値が下がっているため、Classiに代わる連絡手段を検討する必要がある。</li> </ul>
5	ICTを活用した授業等の教育活動を模索し、教育活動のデジタル化を進める。	ICTを活用した授業を実施し、授業や課題等の配信をデジタル化するなど工夫する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多くの学年、組、授業でGoogle ClassroomやMetaMojiのクラスを作り、生徒を参加させる。</li> <li>・ICTを活用した授業や課題配信等、教育活動の工夫に取り組む。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・Google ClassroomやMetaMojiのクラスを多くの単位で作ることができたか。</li> <li>・ICT機器を活用して授業や課題配信を実践したか。</li> <li>・授業等でのICT活用は増加したか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・Google ClassroomやMetaMojiを活用し、課題配信などを実施することができた。</li> <li>・授業でタブレット端末やAppleTVなどICT機器を活用できた。</li> <li>・自動採点システムを導入した。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度MetaMojiのクラスは76クラス作成されたため、来年度は今年度以上の作成ができるよう、積極的な活用を呼び掛ける。</li> <li>・一人一台タブレットの活用について引き続き検討を重ねる。</li> </ul>

学校関係者評価
実施日令和6年2月16日
学校関係者からの意見・要望・評価等
<p>学校評価アンケートでも「生徒の興味・関心・意欲を引き出す授業」について高い評価を得ていることは素晴らしい。今年度入学生から一人一台タブレットが導入されたが、その活用方法について検証し、さらに学校全体で推進していただきたい。大学などの上級学校でも学習習慣が重要となるため、高校生活で自宅学習や朝学習などを習慣化させてほしい。またICT活用して効率的に学習を進めるなどの取組をさらに推進していただきたい。</p> <p>生徒会長が始業式でヘルメット着用を呼び掛けるなど生徒が主体となって交通安全を呼び掛ける取り組みは非常に素晴らしい。近隣の道路でも危険箇所が多くあり、特に夜間が非常に心配である。さらに自転車乗車時のヘルメット着用率を高める取組を行うとともに、交通安全の意識を高めるよう取り組んでいただきたい。</p> <p>生徒の進路満足度が高いことは評価できる。学年ごとのSD学習を中心に進路意識を向上させ、進路行事や進路指導が取り組んでいることと推測される。</p> <p>進学希望の生徒が多い中で、生徒が希望する進路の実現を目指しながら、より高い目標にチャレンジしていけるような進路指導を期待したい。また生徒が早くからより具体的に進路情報が得られるような機会をさらに提供してほしい。</p> <p>HPなどを中心に地域、保護者等へリアルタイムで情報発信がされている。それが進学希望者の高倍率に影響を与えていると考える。</p> <p>HPや一斉メール以外の活用を検討しながら保護者に対してもさらに情報発信を行い、安全安心な学校運営を進めていただきたい。</p> <p>中学校等では学級委員が連絡をタブレットに流すことで自宅でもタブレットを開く習慣を作っている。現状を把握し、ICTの活用について学校全体でさらに研究を重ねていただきたい。</p>